

A André Kertész, Le double d'une vie **K**

A black and white portrait of a woman with short, dark hair, looking slightly to the right. She is wearing a dark jacket with light-colored buttons. The portrait is set against a dark, textured background. The entire image is framed by a thick red border. On the left and right sides of the red border, there are large, white, stylized letters 'A' and 'K' respectively, which are part of the exhibition title.

その生涯の鏡像

アンドレ・ケルテス展

1995.4.8(土)→5.28(日)

開館時間＝午前10時～午後6時(木・金は午後8時)まで、入館は閉館の30分前まで 休館日＝毎週月曜日
観覧料＝一般・大学生600(480)円／小・中・高校生300(240)円()内は、20名以上の団体料金
会場＝2階企画展示室 主催＝東京都写真美術館

●本展は、フランス文化及びフランス語圏省写真文化財部の協力のもとに、フランス写真文化財普及協会(AFDPP)が組織したものです。
EXPOSITION REALISEE PAR L'ASSOCIATION FRANCAISE POUR LA DIFFUSION DU PATRIMOINE PHOTOGRAPHIQUE AVEC LE CONCORDS DE LA MISSION DU PATRIMOINE PHOTOGRAPHIQUE (DIRECTION DU PATRIMOINE) AU MINISTRE DE LA CULTURE ET DE LA FRANCOPHONIE

東京都写真美術館

アンドレ・ケルテス展

●その生涯の鏡像●

本展覧会は、アンドレ・ケルテス生誕100年を記念して、
 昨年の末から今年の初めにかけてパリのバヴィヨン・デ・ザ
 ールを会場に開かれたものです。

ケルテスは世を去る一年前にフランス文化省へいっさいのネガと関係書類を寄贈しています。そのネガの中から今回の展示作品はプリントされ、以下の6つのパートで構成されました。

ケルテスの幼年、青年時代を過ごした「ハンガリー時代（1894～1925）」³¹。31歳でパリに渡り、写真家として正当な

扱いを受け、仲間に恵まれた「フランス時代(1925~36)」。
視覚的に独自の手法を創り出したシリーズ、「ディストーション(1933)」。
理解されず孤独であった「アメリカ時代(1936~62)」。
彼に対する評価が世界中で高まる晩年の「国際的な時代(1962~85)」。
そして、全作未発表のカラー作品のパート。勿論、未発表作品の展示はカラーだけでなく、モノクロ作品中にも入っています。以上の時間的流れに沿って彼の生涯を、再現しようとするものです。

(作品点数216点ほかポスター資料等)

講演会のお知らせ(4月8日^土 3:30PM~5:30PM)

講師:ピエール・ボンノム氏(本展覧会企画者) 会場:当館1階ホール(無料)

フロアレクチャーのお知らせ
(各回午後2時から)

第1回 4月16日(日)・第2回 4月23日(日)
第3回 4月30日(日)・第4回 5月21日(日)

ハローダイヤル 03-3272-8600

東京都写真美術館
Tokyo Metropolitan Museum of Photography
〒153 東京都目黒区三田1-13-3 TEL 03-3280-0031
1-13-3 Mita, Meguro-ku, Tokyo 153